

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

## 地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

### 【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

グリーンECO

グループの名称

グリーンECO研究会静岡

直近採択グループ番号

06-0245-0433

(グループ代表者)

代表者名

齊藤 重利

代表者印

代表者所属先

株式会社鳳工務店

代表者所在地

静岡県静岡市清水区大手1-7-9

代表者電話番号

054-366-2863

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社鳳工務店

事務局担当者名

齋藤 重利

印

事務局郵便番号

424-0808

事務局所在地

静岡県静岡市清水区大手1-7-9

事務局電話番号

054-366-2863

事務局FAX

054-365-3771

事務局担当者E-mail

greeneco\_kenkyukai@yahoo.co.jp



B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数 (必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		15	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	15	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		8	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	8	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		10	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	10	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		8	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	8	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		高度省エネ型	認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		1	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		3	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		3	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		2	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		2	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		6	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		6	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		0	棟			
					0	m <sup>2</sup>			
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		0	棟			
					0	m <sup>2</sup>			
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)	原則的には1社1棟を最低配分戸数とし、その上でこれまで補助対象の木造住宅の取組が少ない工務店、過去当グループでの補助金未活用工務店、受注が確実視されている工務店へ配分していく。								
E. 平成29年度の執行状況 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	20	戸	交付申請戸数	19	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	19	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	4	戸	交付申請戸数	4	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	4	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	m <sup>2</sup>	交付申請床面積	0	m <sup>2</sup>	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m <sup>2</sup>	





















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) <b>グリーンECO</b>	(地域型住宅供給対象地域) <b>静岡県、山梨県</b>
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) <b>グリーンECO研究会静岡</b>	(結成年) <b>2015 年</b>
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	<b>06-0245-0433</b>	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	【ECO】当グループの地域住宅は、静岡の気候風土に対応したグリーン(自然)と人(健康)にやさしい、高い基本性能を提供する 1)全棟、断熱等性能等級4を標準とする。(高い断熱性能による省エネ化をもたらす、地球のECOに貢献する) 2)一次エネルギー消費量等級4をクリアする。 3)外壁通気構造を標準とする。(住まい手の健康性にも留意し、静岡の通風(風)を大切にしたい家とする) 4)ホルムアルデヒド対策等級3の基準をクリア。(住まい手の健康を大切に)	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	【耐震・安全で長持ちの家】東海地震対策に静岡の地域性を考えた住まい手への安心・安全の確保を目指す ⇒(耐震性)耐震等級2以上を標準とする。(長寿命型住宅のみ) ⇒(劣化対策) 1)基礎断熱(または床断熱)施工 2)基礎高400mm以上を標準とする(基礎劣化対策) 3)浴室ユニット を標準とする ⇒(維持管理性)『維持管理対策等級3』の基準の内、下記のいずれかを最低2つクリアする。 →専用配管が、壁、柱、床、梁および基礎の立ち上がり部分を貫通する場合を除き、コンクリート内に埋め込まれていないこと。 →地中に埋設された管の上にコンクリートが打設されていないこと。 →専用の排水管には、掃除口が設けられているか、又は清掃が可能な措置が講じられトラップが設置されていること。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	【グリーン(自然)健康】静岡のお茶を育む自然(日照・風・水)、気候、健康寿命日本一を踏まえて、(人とお茶)を育てる大切な通風や日照(採光)を取り入れるデザイン提案を行う ⇒通風・創風シミュレーションを全棟実施する。	○
④①～③の背景	静岡県は日本一の標高差を持つ県であり、富士山とともに、豊かな自然(緑)、湧水、海を有する地域である。夏季は温暖・湿潤、冬季も晴れる日が多く、日照率は全国一位である。他方、東海地震への対策が求められ、防災に対する意識も高く、耐震補強を含め防災整備率は全国一番である。その他の振興では、暮らしやすさ(水道料金、男女健康寿命、シルバーセンター設備率)全国トップ、そして自然(グリーン)環境日本一(柿田川湧水水量、富士山、お茶の出荷量)を誇っている。  以上を背景に当グループの地域住宅のコンセプトを【静岡のグリーン(自然)にやさしい家】とし、「自然(日照・風・水)を大切に」、「お茶の健康効果」、「緑化・エコ」、「安全耐震性」をキーワードとした静岡の風土と自然に合った【グリーンECOな住宅】を提供する。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	【自然・資源を大切に】他の標準仕様 ⇒節水型省エネ設備(節水型水栓等)を設置する。 (環境負荷の負担を減らし、水の恵み豊かな静岡県の環境保護に取り組むお茶をはぐむ静岡の水を大切に)	◎
イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 当グループで採用している建材の寸法規格化により横架材間寸法および開口寸法を規格化、省設計・省施工を目指している。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 当グループでは不造軸組壁構法による工法の統一と、耐火性・断熱性・気密性・防音性における性能基準を設定し、用材・建材等の仕様を統一している。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 【共通標準仕様】 ①発泡ポリウレタン製の高断熱材を使用②基礎断熱(または床断熱)の実施③節水型トイレ設置④その他「遮音性T-1(JIS基準)以上のサッシを積極的に使用する。	◎
②-1 建材・資材調達共同化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 一部の住設(建材)については、共通の流通事業者より共同購入することで合理化を進めている。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 省エネ設備研修を通じて流通全体での商品選択の標準化を図る。	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループ構成員による隔月定例勉強会を実施していく。その中で、生産の合理化等に資する取組、グループの中長期的な方針・取組について検討していく。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 生産の合理化等に資する取組に関し、事務局が積極的に情報を収集し、検討テーマを設定する。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 全棟に気密測定を実施する。 全棟に長期間の断熱材の無結露保証を実施する。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 全棟に気密測定を実施し、共通の性能報告書を作成の上、お施主様に提出する。 グループ共通として、お施主様に対し、長期間の断熱材無結露保証を行う。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ共通の見積書を検討する。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 今年度は上記取組を確実に実施するよう推進する。	○
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループでの会議体の中で現状の勤務状況を把握、制度導入の阻害要因を洗い出し、会員が週2日休めるようグループとして前向きに取り組む。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 協力業者、下請け大工との関係性を強化(教育)していく。経験ある職人から若手への技能継承を推進する。	○
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各会員の加入状況確認し、社会保険への加入を推進する。	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループでの勉強会の議題として、現場で働く人の安全と健康、労働時間についての議論を設け、中長期的な改善を目指す。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) グリーンECO	(地域型住宅供給対象地域) 静岡県、山梨県	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) グリーンECO研究会静岡	(結成年) 2015 年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0245-0433		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 本グループの共通ルールとして第三者である「住宅履歴情報サービス機関(株)フォーラム・ジェイ」において住宅履歴を30年間保管・管理を行う。□定期点検時期・点検項目を統一する。 □グループ共通の「住宅維持管理計画書」を統一作成する。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者である「住宅履歴情報サービス機関(株)フォーラム・ジェイ」を活用する。	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ共通の住宅維持管理計画書を作成する。	○
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期点検時期・定期点検項目を統一する。	○
		②-2 補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事前に点検管理項目に対する補修内容をユーザーに連絡する。	○
		②-3 点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者機関の住宅情報履歴を利用し、帳票管理の更新を行う。	○
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 引き渡し後、定期的に住まいお手入れ勉強会の実施を推進する。	○
		③-2 DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: お客様向けの木工教室、DIY体験会等の実施を推進する。	○
		③-3 その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: お客様向けの住まいの相談会、現場見学会を年に2回グループ共同で実施する。	○
	④ 維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループにおいて「維持管理WG」を設置し、お客様に「定期点検の事前案内」を送付する。	○	
	⑤ その他の維持管理の手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 今年度は現状手法の徹底を推進する。	○	
	b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ構成員同士による助け合いの仕組みをつくる。廃業等が発生した場合、他の構成員によってその後の点検、維持管理、メンテナンス等のサポートを実施する。その際には情報サービス機関によって保管・管理している住宅履歴情報を活用し、スムーズな実施を実現する。	○
		② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴を活用した24時間緊急駆けつけ・無償工事(緊急手直し工事の一部)サービスを付保し、お客様への不具合対応を迅速に行う。	○
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
	エ. グループの技術力の向上		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地域型住宅の提供にあたっては、隔月の定期勉強会において、実施経験のある施工会社をグループリーダーとして、未経験工務店への実務研修を実施する。	◎	
	②-1 品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループで手掛けている木造軸組壁構法は気密性が重要であり、全棟気密測定の実施により施工品質を管理する。	◎	
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 全棟気密測定実施により、性能担保の確認をする。	◎	
	③-1 需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定例会(2ヶ月に1回程度)において、グリーンECOの普及拡大を目指す為に需給計画を策定する。	◎	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定例会(2ヶ月に1回程度)において、グループの技術力向上に資する取組等について、グループの中長期的な方針・取組について検討していく。	○	
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 今年度は策定しない。		
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 16 今年度の参加目標人数 2	○
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 6 今年度の参加目標人数 10		○	
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 開催される住宅省エネルギー技術講習会の日程等の情報を、事務局を中心に共有・周知することで参加を促進する。		○	
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 隔月定例の勉強会を実施し、省エネ・環境・自然エネルギーの活用技術等においての構成員の知識、技術力、提案力の向上を図る。	◎	
	② 新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 今年度は策定しない。	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		今年度は策定しない。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) グリーンECO	(地域型住宅供給対象地域) 静岡県、山梨県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) グリーンECO研究会静岡	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0245-0433	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	地域材利用に関する	◎
①	共通 ルール(必須)	◎
②	地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	◎
③	標準的な地域材の使用部位(必須)	◎
④	地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	
<p>当グループでは下記のいずれかに該当する地域材を使用する。                  ①『静岡県産材証明制度』によって証明された静岡県産材                  ②合法木材証明制度による国内・海外産の合法木材 → 地域材を使うことで、地球温暖化や地球環境保全に貢献する。</p> <p>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している                  柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している                  梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している                  間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している                  羽柄材: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している                  造作材: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している                  壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</p> <p>【補足】地域型住宅の地域材供給の流れについて                  ・原産国が海外の合法木材については、産地・出荷者が多岐にわたり原木供給者、製材会社の特定が困難な場合が多々ある。                  その為、海外の合法木材を使用する場合は、原木供給、製材に該当する構成員に含まず、流通グループに所属する構成員による合法性の証明によって代替する。                  ・原木が国有林等から支給される地域があるため、該当地域においては供給ルートに原木供給業者が含まれない。                  ・一部、流通を介さずに地域材の調達を行う場合がある。                  ・一部の施工グループの構成員においては、全て手刻みによる加工を行うため、プレカット会社を使用しない場合がある。</p>		
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	○
①-2 地域材価格の共有の仕組	○	
② グループ全体における地域材の需給予測	○	
c	①-1 畳の活用	○
①-2 和瓦の活用	○	
①-3 襖の活用	○	
①-4 障子の活用	○	
②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	○	
②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	○	
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	○
② 地域の住まい方の継承につながる取組	○	
③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	○	
④ 和の住まいの要素を取入れた取組	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	お客様へ、お茶の木(苗木)をプレゼントし、健康づくりと緑の推進を提案していく。	
カ. その他		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	今年度においては策定しない。	
平成28年熊本地震の復興に資する取組	今年度においては策定しない。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) グリーンECO	(地域型住宅供給対象地域) 静岡県、山梨県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) グリーンECO研究会静岡	(結成年) 2015年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0245-0433	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴  
 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。  
 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

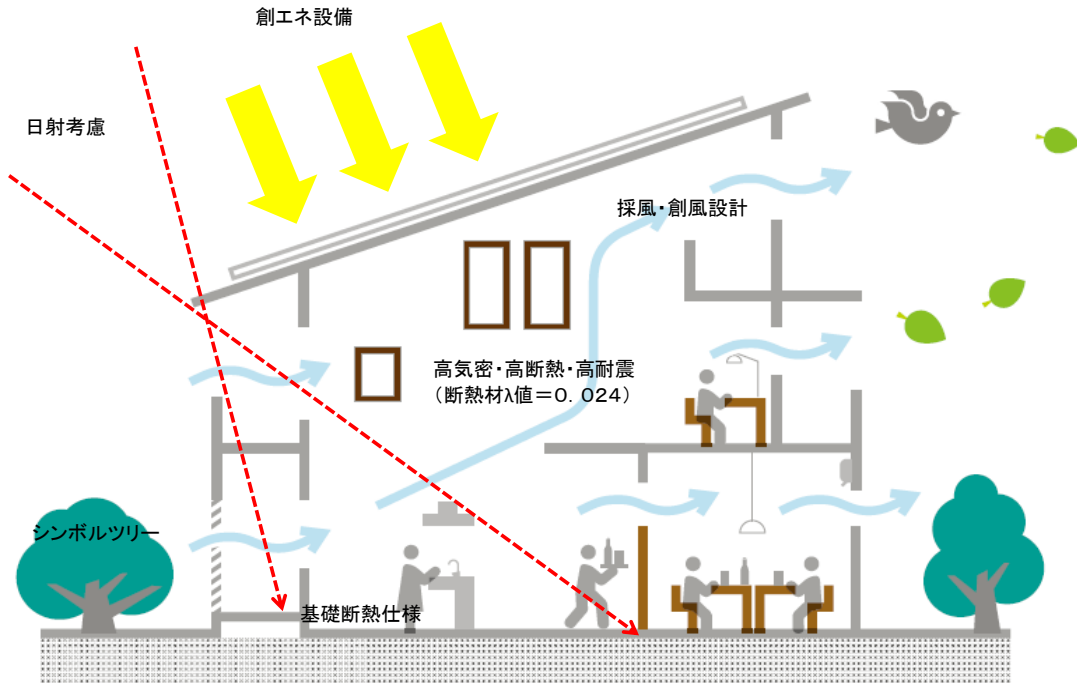
■ゼロエネルギー住宅概要

【当グループのゼロエネルギー住宅の特徴】

- ①ゼロエネルギー住宅評価方法と評価
- ・評価方法:平成28年度省エネ基準一次エネルギー消費量算定方法に準じた評価方法
- ・モデルプラン評価結果
- 【グリーンECO TypeZEH2018】・・・UA値=0.56、R0値(太陽光発電を除く削減率)=32.0%、R値(全体の削減率)=108.0%

②考え方

外皮性能強化と高効率設備選定により、太陽光発電を除く削減率を30%以上とする。



※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。